

沖縄県農業クラブ連盟

その後の挨拶と協力願い

◇4月24日 県農業協同組合中央会	会 長	砂川博紀氏
	総務部部长	崎浜英敏氏
	総務部次長	平良憲一氏
県農業大学校	校長	関塚史朗氏

第 5 期 (H24 ~ H33) 県立高等学校編成整備計画

☞前期 (H24 ~ H23)、中期 (H26 ~ H31)、後期 (H28 ~ H33)

- 前期：①名護高校フロンティア科開設 (H27) (定員割れの課題)
②南工と沖水の統合→見直し (南部工業は今年度から 1 学級増)
- 中期：①辺土名高校の名護高校の分校化
②本部高校と北山高校の統合→本部町、今帰仁村が存続を強く求めている
③久米島の園芸科の廃科→久米島町が存続を強く求めている
④中部フューチャースクール→再検討
⑤南部フューチャースクール→再検討
⑥那工定時制の再編→計画時と志願状況が異なり保留
- 後期：①伊良部高校を宮古高校に統合
②陽明高校の介護福祉科の募集停止 (H28) と真和志高校にみらい福祉科の開設 (H29)
- その他：①過大規模校適正化→首里高校 1 学級減 (H26)
②沖縄インターナショナル中等教育学校 (仮称)
③中等教育学校 (併設型中高一貫)
・開邦中 (H28)、球陽中 (H28)
④八重山商工定時制課程

地域創生の観点からも統廃合は一筋縄ではいかないものです。学校は、地域活性化の拠点ともなりえる存在です。逆に言えば、学校に対する地域からの期待はもの凄く大きい事を我々が理解し、常に地域のための人材育成という視点を忘れずに教育を行う必要があります。

平成 31 年全国高校総体南部九州総体開催

平成 22 年度の沖縄開催をもって都道府県単独開催は終了。その後はブロック開催となった。平成 31 年には南九州ブロック（沖縄・鹿児島・宮崎・熊本）で開催。

沖縄開催種目（8 種目）：陸上、水泳（飛込・水球）、サッカー、相撲、ウェトリフティング、空手道、なぎなた

参加者見込数（沖 縄）：選手・監督：8,000 人

大会役員：1,000 人

観 客：130,000 人

給付型の奨学金

県は「沖縄県県外進学大学生奨学金」事業を実施しています。グローバルな人材育成を目指し、スーパーグローバル大学として採択されている県外 35 の大学を対象とした奨学金制度です。高い学力を有しながら経済的に困窮している生徒にとっても有効な制度です。

しかし、県内大学学長から県に申し入れがあったように、地元の大学や県外の他大学にも制度の拡大をしていく必要があり、それが、進学を志す、すべての生徒に対する学びの保障に繋がって行くと考えます。

☞国において、約 2 万人を対象とした給付型奨学金が創設されます。この支援は、大学進学だけでなく、短大や専門学校への進学も対象となる制度です。

国公立自宅生 2 万円、国公立自宅外生・私立自宅生 3 万円
私立自宅外生 4 万円が計画されています。

このような情報を生徒に適切に提供し、金銭的理由で進学を諦めることの無いように支援して下さい

※後援会による奨学金給付式が 4 月 29 日（土）
16:00 ～ 18:00 北農会館 で行われます。支援
頂いていることに感謝です！！

